

20033

炭酸ガスによる血管造影

【目的】重篤な造影剤アレルギーおよび腎機能低下を有している症例の血管造影にて、非イオン性ヨード造影剤の使用は最小限に抑えるために炭酸ガスで血管造影を行うケースが増加している。今回、当院で行っている炭酸ガス造影の実際について報告する。

【方法】使用物品は、医療用炭酸ガスボンベ、炭酸ガスレギュレーター、バクテリア除去フィルター付き炭酸ガス回路、三方活栓、造影部位により 20ml および 50ml シリンジを使用。シリンジ内への空気混入を防ぐため、炭酸ガスの出し入れを行いシリンジ内に充填した炭酸ガスをシースより注入し、DSA 撮影法により撮影を行った。

【結果】炭酸ガス造影は、腸骨動脈と下腿動脈領域においては評価可能な造影を得る事ができた。膝下動脈においては、下肢痛による体動のため、不明瞭な場合がある。しかし、血管走行を判断するには十分有効であり、血管内治療においては IVUS と併用することにより、有効で安全な治療を行えた。炭酸ガス使用による合併症は起こっていない。

【結論】炭酸ガス造影は、画像の不明瞭、装置の複雑さ、手技の煩雑さ、合併症および副作用、使用量など不明な点が多いが、症状、バイタルサイン、IVUS などと併用する事により安全かつ有効に治療が行えると考ええる。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号